



氏神様の境内で鐘や太鼓を打ち鳴らし、雨ごい祈願をする大浜のお年寄り

広報伊方町

発行所
伊方町
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
〒796-03 伊方局38-0211

編集
伊方町
〒796-03 伊方局38-0211

印刷所
豊社
八幡浜市松柏 22-0144

4月の紙面

二面……敬老特集
お年寄り番付・米寿・金婚式

三面……八幡浜―三崎航路運休
全国青年大会県予選会
民話と伝説「篠谷の平家大明神」

四面……秋の行政相談週間
歳時記「秋晴れ」

ふるさと再発見 ④

干ばつに「雨ごい」祈願

苦しいときの神だのみ——。昔からカラカラ天気が続くと、氏神様にもうで「雨ごい」が行われていました。今年も九月に雨がほとんどなく、大浜では九月十八日に雨ごいがありました。

昔から行われて来た雨ごい祈願。大鼓や鐘を打ち鳴らしながら「雨たまわれ龍王堂、龍王堂が焼けるぞ」と、天まで届かんばかりの勢いで歌い、踊り続けられます。

お年寄りの話では、干ばつになると、まず地区の氏神様の境内で鐘や太鼓を打ち鳴らし、雨ごい祈願をする大浜のお年寄り

日間恵みの雨となりました。今までも、雨ごいの途中や翌日から雨が降ったことが、たびたびあったそうです。今年最初に雨ごい祈願をしたのは大浜地区。九月十八日、あまりの天気続きに「子や孫が必死になって柑橘園に灌水を続けているのに、われわれも何か手助けを……」とお年寄りだけで雨ごいを思いついたものです。

この日は朝から三十人あまりが集まり、地区の客神社にお参りしたあと境内に太鼓をつり、四人一組が五分交替で四時間あまりにわたって続けられました。

お年寄りたちは「きつと効果があるはず、なんとか一雨ほしい」と、天にすがる思いで太鼓や鐘を打ち鳴らしていました。

今年も干ばつ

今年も雨が少なく、九月の降雨量は三ミリ(九月十九日現在)町の気象観測局調べ。昨年の十五分の一、一昨年の十三分の一にも満たない数値となっています。

すでに柑橘類は葉が巻いたり、果実がしぼむなどの影響が出初め、ポリタンクに水を満載した車が町じゅうを行き交っています。

公開ヒアリングに伴う交通規制について

10月4日(金)、町見体育館におきまして伊方原子力発電所3号炉建設に伴う第2次公開ヒアリングが開催されます。

当日は、会場周辺道路において交通の混雑が予想されますので、午前6時ごろから12時ごろまでの間、一時的に一方通行などの交通規制を実施することがあります。

できる限り、会場周辺での自動車使用を控えていただき、交通混雑緩和にご協力をお願いいたします。 八幡浜警察署長

戦没者の遺族に弔慰金

次に該当する場合は第四回特別弔慰金(三十万円・十年償還)が支給されますので請求してください。

- 一、第二回または第三回特別弔慰金を受ける権利を取得した人(時効で失権した人を含む)で、六十年四月一日において同一の戦没者につき、公務扶助料などの受給権者がいないもの。
- 二、第一回特別弔慰金を受ける権利を取得した人で、その後同一の戦没者につき公務扶助料などの受給権が生じ、第二回及び第三回特別弔慰金を受給できなかったが、六十年四月一日前に、年金などの受給権を有する人がすべて失権。六十年四月一日において、これらの受給権者がいないもの。
- 三、五十四年四月一日までに弔慰金の受給権を取得した人(時効で失権した人を含む)で、五十四年四月二日から六十年四月一日までに同一の戦没者について、公務扶助料などの受給権を有する人が

すべて失権。六十年四月一日においてこれらの受給権者がいないもの。

四、五十四年四月二日から六十年四月一日までに弔慰金の受給権を取得した人

(一)六十年四月一日において同一の戦没者について、公務扶助料などの受給権者がいないもの。

(二)弔慰金の受給権だけを取得したもの。

五、一から四の転給遺族十月一日から受付けを始めます。詳しくは役場福祉課へお尋ねください。

児童手当

離婚などによる母子家庭に支給されている児童扶養手当制度が改正。次のようになります。

項目	改正前	改正後
手当月額(母子2人世帯の場合)	年取361万円未満 32,700円 年取361万円以上 支給なし	年取171万円未満 33,000円 年取171万円以上300万円未満 22,000円 年取300万円以上 支給なし ただし、既認定者については、1年間に限り22,000円を支給
支払窓口	郵便局	60年8月以降の新規請求分から県(指定金融機関を通じて口座振替) なお、既認定者については、従来どおり郵便局
支払期日	4・8・12月 12月分は11月支払可	4・8・12月 11月支払なし



東方大関
上島竹松さん
〔加周〕92歳



東方横綱
井田與之平さん
〔須賀〕95歳



西方大関
古田タ子さん
〔田之浦〕98歳

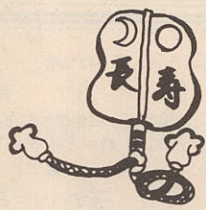


西方横綱
川内ハツノさん
〔向〕98歳

お年寄り番付から

今年の横綱
大関紹介

今年も、お年寄り番付の中から上位四人のかたがたを訪問。たいへん元気な姿に驚かされました。数え年百歳になるおばあちゃん、百歳を目指すおじいちゃんもいました。お元気な様子を写真で紹介しします。



町内一は川内さん〔向〕

今年もお年寄り番付を作ってみました。町内一の長寿は、川内ハツノさん(向)で98歳。男子では井田與之平さん(須賀)が3年連続トップです。 —敬称略—

Table with columns for gender (東 方 (男) and 西 方 (女)), name, age, and residence. Lists top long-living individuals in the town.

厚生省の発表によりますと、日本人の平均寿命は女子が八〇・一八歳、男子七四・五四歳で男女とも世界一の長寿国となっています。また、九月十日に発表された全国の高齢者名簿では、今年九月末日までに百歳以上にな

なる人は、昨年より百七十七人増え一千七百四十人。女子一千三百八十八人、男子三百五十九人と女性上位が続いています。愛媛県は六十八人(男十八人、女五十人)で、人口比にする

と六番目の長寿県です。町内の状況は左欄の「お年寄り番付」のとおりです。九月一日現在の最高齢者は川内ハツノさん(向)の九十八歳。九十歳以上は十七人おられます。

また、六十五歳以上のかたは昨年より五十三人増え一千四百八十九人です。地区別の人数と人口割合は下欄で紹介して見ました。

これをみますと、町全体の人口に対するお年寄りの割合は一七・三%で、六人に一人は六十五歳以上のお年寄りということとなります。

中でも、割合が最も高い地区は鳥津で二九・一%。昨年より少し減りました。次いで古屋敷の二七・四%、二見の二四・〇%の順。逆に最も低いのは湊浦の二二・〇%です。

九月十五日は「敬老の日」。この日から一週間は「老人福祉週間」です。長年にわたり社会に貢献してこられた、おじいちゃん、おばあちゃんをいたわり、長寿を祝うために設けられたものです。こうした機会に、お年寄りの福祉について関心と理解を深めましょう。

昭和十一年に結婚して五十年。今年金婚式を迎えられた「おしどり夫婦」が町内に十一組(昨年十四組)あります。記念に町から金盃とお祝いを贈りました。敬称略

今年数えて八十八歳(明治三十一年生まれ)で米寿を迎えられた皆さん、おめでとうございました。

記念に県知事から木盃、町から赤座布団とお祝いを贈りました。今年が次の十五人(昨年十一人)の皆さんです。敬称略

山本トヤ、浜本タイ(大浜) 藤堂フクヨ(河内) 清水コマツ(中浦) 畑中イセ・加藤菊枝(川内) 中田百歳(豊之浦) 大沢マン(奥) 得能三太郎(畑) 上田辨三・笹田キミヨ・神山マサヨ・金山ラセキ(二見) 谷口キミエ(田之浦) 浜田サイ(古屋敷)

長寿おめでとう
お年寄りに関心と理解

「健康老人」として表彰しました。今年には次の六十三人の皆さんに表彰状と金一封を贈りました。敬称略

金婚式

おしどり夫婦11組

米寿と健康老人78人も

65歳以上のお年寄り

Table showing population statistics for residents aged 65 and over, including names of districts, number of people, and percentage of total population.

健康老人

町の国民健康保険加入者の中で、一年間病院などで診療を全く受けなかった皆さんを

民話と伝説

原文/伊方町誌 補作/岡村 豊

26

海の足にピリオド

三崎航路(高速艇)も今月限り

半島部と八幡浜を結ぶ海の交通機関として親しまれていた八幡浜—三崎線の定期航路が、利用客の減少などにより九月末で運休することになりました。

また、来年度から国の離島建設に億単位の資金が必要。こうした調達が困難なことが主な理由です。



9月末で運休する高速艇「みさき」…加周港

となりました。これで、本町関係の沿岸定期航路はすべて廃止か運休となり、明治の中ごろから九十年近く親しまれて来た住民の足が消えてしまうことになりました。

開設は明治

伊方町誌によりますと、八幡浜—三崎線の本格的な定期航路の開設は明治三十六年。当初は宇和島運輸の「品海丸」が運航し、本町では加周と九町のほか伊方にも寄港。大勢の乗客や物資を運んでいました。

特に大正時代から昭和初期にかけては、いくつもの船会社が先を競って航路を開設。旅客獲得合戦が繰り広げられていた華やかな時期もありました。

3人が東京へ

県青年大会で活躍



男子1万メートル決勝でトップを走る武岡選手

八月二十四日から二日間、伊予郡砥部町の県総合運動公園を中心に第三十四回全国青年大会愛媛県予選会が開催され、本町の代表選手が大活躍しました。本町からは陸上競技や団体競技に八人が参加。陸上男子では、五千メートルで矢野吉男さん(大浜一七・六秒)、一万メートルで武岡英二さん(仁田之浜三六・五九秒)が優勝しました。三人は十一月八日から東京国立競技場で開かれる全国大会に出場することになっています。また、相撲団体戦で惜しくも準優勝。個人中量の部では菊池久之さん(大浜)が優勝しました。

源平由来の地

その15

この神様はな。昔は、わたし方の家の脇の一段上った畑のすまにおんははったのぞ。

でもううて、拜んでもらうと病気が治りますがよ。大体、体の弱い者にさわるんでしようかなあ。そこで、神霊がさわるの

篠谷の平家大明神

川永田

わたし方の家の脇の一段上った畑のすまにおんははったのぞ。わたしん小さいころは、ようさわってなあ、いけませざつとい。わたしだけじゃありませんが。次から次に、近所のうちの人もさわってなあ。神霊が出なはって、さわんなはたら、どこぞ体の調子が悪うなって、医者に見てもらうけんど、どこが悪いのかはつきりわかりませんよ。

祈とう師さんにご祈とうしてもろたらな、位の高い武將で夫婦らしいと聞いたことがありますらい。なにさま、小さい時分のことじゃってなあ。親から詳しく聞いたりませんがじやが、ひじょうに霊験あらたかな人じやそうですがな。すらい。きれい



道端の木の元にひっそり祭られている平家様

そのときにはな、祈とう師さんは、神主さんが御霊遷の儀式をしながらときどきに「おつおつ」言うて移しました。それから、毎朝、かかさず線香とお水を供えてお詣りしよります。以来、神霊のさわりものうなりましたな。毎月、八のつく日を縁日に決めとりますが、特に、正月と、毎年、四月には、新しい赤旗を奉納し、十月十八日には、野菜や菓子、季節の果物などをお供えしますがよ。はかない仏「お墓のない仏」は、それこそ、はかないもの、ひがまれては話になりませんからな。今でも、一心に信心してあります。

年金相談

10月14日、町内4カ所で宇和島社会保険事務所から年金専門官を迎え、年金相談を行います。来年4月から実施される年金制度改正のことなど、お気軽にご相談ください。

- 10月14日(月)
- 役場町民相談室
- 役場町見支所 (午前10時から12時)
- 大浜集会所
- 豊之浦集会所 (午後1時半から3時半)

健康の窓

健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしたいと考えています。

今、保健室では

朝からあくび、うつろな目つきの子、いつも前かがみで何か拾うような姿勢で歩く子、朝礼では「ボタン」と倒れる姿をよく見かけるようになりました。登校まもなく、頭が痛いといった保健室に来る子、熱もない、顔色もさほど悪くない、問いかけてもうつろな目をして「うん」「うん」、しばらくベッドで休ませるとグーグー眠って、一時間もすると治ったと言って帰っていく子もいます。午前中は、生活習慣の乱れがそのまま子供たちに身体的・精神的にストレスを生み出しているようです。やがて昼休み、昼休みの保健室は、すり傷をした子や口から生まれてきたのかしら—と思わせるほどのおしゃべりの子供たちで、とてもにぎやかになります。「痛くないからね」「わたしはあの薬つけてもらったよ」……。しばらくすると「ねえ、先生」「あのね、先生」と大変です。ガミガミお母さんのこと、お友達のこと、お父さんのけがのことなどいろいろな話をしてくれま。大人が聞けばたわいもないことでも、子供なりに心配、悩んでいるものです。しゃべり終えた子供たちの顔は、今までも増して暗れやかなこと。すがすがしい顔をして運動場へと戻っていきます。保健室は、心の中を知る重要なバロメーターです。健康である子供は、くつたかない笑顔をしています。笑顔こそ、子供本来の顔なのです。しかし、現在は、笑顔を忘れた子供たちが増えています。そんなとき、心から笑える子供になつてほしい。—。なんとかして、その手助けができないかと思つたのです。そのためには、わたしたち大人が、にっこりほえんで温かく見守れるような、人間としてのゆとりを持たなくてはならないと思ひます。子供の笑顔、とてもかわいいものです。とてすばらしいと思ひます。この笑顔に出会つたひ、ようし、今日もがんばらなくては—と思つたのです。(水ヶ浦小養護教諭・平家千春)

歳時記

秋晴れ

ようやく涼風がたちはじめたので、さわやかな秋晴れを期待していたのに、意外に天気の良い日が多くて、がっかりすることがよくあります。

実は、秋は天気の良い日が案外多いのです。地域によっては、梅雨期の6月と同じくらいの「雨の日」を記録するところもあります。

「男心と秋の空」とか、「女心と秋の空」とか言います。どちらが本当かは知りませんが、ともかく秋の空は、変わりやすく、不安定なのです。

ほんとうにさわやかな秋晴れの日が多くなるのは、秋と言っても晩秋です。晴れの特異日として、もっとも有名なのは、11月3日の文化の日です。東京を例にとると、ここ10年間で、この日に雨が降ったのは、1回きりです。

このほか、秋晴れの特異日として知られているのが10月の16日と23日。この日に限って運動会の会場などは、早ばやとふさがってしまうようです。

ところで、秋晴れによく似合うのが、共同募金の赤い羽根。今年も、10月1日から、街頭募金が始まります。昭和22年から始まったこの行事も、今年で39回目になります。昨年の街頭募金の金額はおよそ4億5,000万円です。高齢化社会を迎えて、こうした行事の意義はますます大きくなります。みんなで、協力したいものです。



さわやか君

西村 宗



国の仕事によって不利益を被った、役所の事務処理が間違っていると思うが……。このような行政に対する苦情や疑問が生じたとき、たいへん心強い味方となってくれるのが「行政相談委員」です。委員さんは、国の行政に関する相談を受けると、必要な助言をしたり、関係行政機関に対し、適切な処置をうながしたりして、皆さんからの相談を一つ一つ解決していきます。行政相談委員は「行政相談委員法」という法律に基づいて、総務庁長官から委嘱されている民間の有識者。ボランティアとして無報酬で活動しています。

現在、市区町村に最低一人、全国に四千七百八十九人の委員がおります。本町の相談委員は渡辺定幸さん(小中浦)です。こうした制度を広く知っていただくために設けられたのが行政相談週間です。今年も十月十三日から十九日までの一週間「秋の行政相談週間」が行われます。

秋の行政相談週間の行事として、本町では十月十四日に区長及び各種団体長との「行政懇談会」を行います。また、定例行事としては毎月第一水曜日(来月は十月二日)に行政相談所を開設しています。行政に対する苦情や要望・意見のある方は、お気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は固く守られます。

国への苦情や疑問 身近にいる行政相談委員に

(行政懇談会)

町内の交通事故

9月1日現在

発生件数.....49件 (8月...11件)
負傷者数.....14人 (8月...0人)

道路交通法の一部改正により、九月一日からシートベルトの着用が義務付けられました。自動車を運転する人、同乗する人も忘れずシートベルトを着用しましょう。また、来年七月からは原付自転車(ミニバイク)のヘルメット着用も義務付けられます。決められたことは必ず守ってください。

伊方・町見駐在所

被爆者調査

厚生省では、原爆被爆者についての実態調査を十月三日(木)に実施します。

この調査は、被爆者のかたがたの生活、健康などの状況を総合的に把握するとともに、原爆による死没者の状況を明らかにするための資料を得るためのものです。今年八月一日現在で被爆者健康手帳を持っているすべての人に、十月二日までに調査票が八幡浜中央保健所から郵送されますのでご協力をお願いします。また、厚生省では、この調査を総合的に把握するとともに、原爆による死没者の状況を明らかにするための資料を得るためのものです。今年八月一日現在で被爆者健康手帳を持っているすべての人に、十月二日までに調査票が八幡浜中央保健所から郵送されますのでご協力をお願いします。

高齢者の雇用

十月は高齢者の雇用促進月間です。就職や雇用の相談は八幡浜公共職業安定所(二二一四〇三三)へご相談ください。助成金などの各種援護制度があります。

お礼

兵庫県加古川市尾上町 旭一丁目二九一三にお住いの岩井春秋さん(鳥津出身)から一万円。
宮崎県延岡市中島町四丁目五九一にお住いの尾上文雄さん(大浜出身)から一万円。
それぞれ広報編集費用にご寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

人の動き

昭和60年8月1日現在
世帯数2,595戸(+2戸)

8,585人 [男4,152人(+1人)]
(+10人) [女4,433人(+9人)]

えんむすび

昭和60年7月1日
7月31日

お誕生おめでとう

昭和60年7月1日
7月31日

おくやみ

昭和60年7月1日
7月31日

最低賃金が改定

愛媛労働基準局では、県内で働くすべての労働者に適用される「愛媛県最低賃金」を改定し、十月一日から実施することになりました。この改定により、従業員に支払う賃金は一日三千二百四十四円(旧三千三百円)、一時間四百二十二円(旧三百八十八円)以上としなければなりません。なお、別に定められている「産業別最低賃金」が適用される事業であっても、現在の産業別最低賃金の方が低くなる場合には、この愛媛県最低賃金が適用されます。詳しくは八幡浜労働基準監督署(二二一七五〇)へお尋ねください。

こちら編集室

石川啄木の詩集に「ふるさと」の歌(なま)りなつかし停車場の人ごみの中にそを聴きにゆく」という詩があります。詩なんてガラじゃありませんが、ふるさととなまりに引用したくて紹介してみました。広報でも、民話と伝説の中で岡村先生が伊方弁をよく使われています。今月も「ほうくらほうくら」といってもええけん」という表現があります。ほったらかしと思えば、ほったらかしでもよいのですが、という意味です。実は、わたしも先生に聞いたほどです。忘れかけているふるさととなまり、大切にしたいものです。